いちごえ会　第７回総会・第 11 回講演会

講　演　14:15~16:00

いちごえ会６年間の歩みと高次脳機能障害者の社会復帰にむけた課題

上田　敏氏

いちごえ会顧問
（公財）　日本障害者リハビリテーション協会顧問
元東京大学教授

総　会　13:00～14:00

小金井市の障がい福祉施策について

福祉保健部　自立支援課

課長　加藤　真一氏

2018
5/19土
13:00~16:00

会　場　小金井市市民会館「萌え木ホール」３階
参加費　1,000 円（会員無料 / 当日入会の方無料）
主　催　高次脳機能障害者小金井友の会　いちごえ会
後　援　小金井市

e-Kai

第１１回講演会

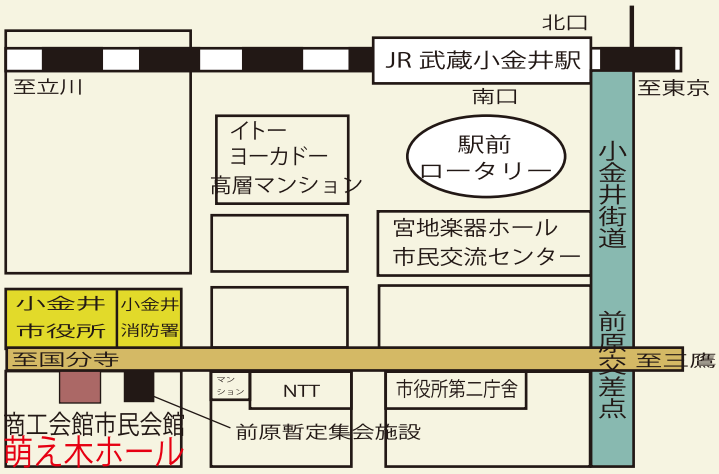
いちごえ会6年間の歩みと 高次脳機能障害者の社会復帰に向けた課題

いちごえ会顧問　上田敏

いちごえ会の発足まで：高次脳機能障害者小金井友の会（いちごえ会）は6年前の2012（平成24）年7月1日に発会しましたが、その準備は１年以上前から始まっていました。2011年2月26日にNPO法人萼（うてな）１階のデイサービス室で「地域障がい者福祉に関する研修・交流会」が開かれ、上田が「障がい者・高齢者が地域で自分らしく生きるためにー高次脳機能障害事例を通して」という講演を行ったのが第１歩で、これは増村幸子氏（現代表）の強い願いに多くの方が賛同して、高次脳機能障害者・家族の会を立ち上げることをめざすものでした。発起人会が2012年3月、4月、5月と3回開かれ、7月の結成総会に到ったものです。
その後の活動：その後の６年間に、毎年の総会、講演会（総会時及び単独に計10回）、当事者による交流会、上田による相談会、家族による茶和会、カスタマイズ就業学習会などの多彩な活動を行ってきており、また他団体と種々の点で協力してきました。
今後の課題：発足時からの念願であった、①「親なき後の住まい」（グループホーム）と、②「生きがいのある働き場所」（カストマイズ作業所）の建設が大きな課題で、「新施設勉強会」を設けて、資料収集、作業所見学、多彩な議論などを行っており、数年以内に何とか実現したいと念願しています。
高次脳機能障害とは：「見えない障害」であり「知られていない障害」である（しかし意外に多い）高次脳機能障害について、「どういう障害か？」「本人はどういうことに悩んでいるか？」「家族は何に悩んでいるか？」「社会復帰（「人間らしく生きる権利」の回復）のためにはどう支援したらいいか？」について、時間の許す限り詳しくお話ししたいと思います。

講師紹介

上田敏先生は東京大学医学部卒、内科・神経内科研修後リハビリテーション医学を専攻、ニューヨーク大学リハビリテーション医学研究所留学、東京大学医学部教授・リハビリテーション部部長、帝京大学教授、日本リハビリテーション医学会会長、国際リハビリテーション医学会会長を経て現在、（公財）日本リハビリテーション協会顧問、いちごえ会顧問です。
「リハビリテーションを考える」青木書店、
「リハビリテーションの思想」医学書院、
「リハビリテーション、新しい生き方を創る医学」講談社、
「リハビリテーションの歩みーその源流とこれから」医学書院など著書多数。



お申し込み	ホームページ、メールでもお申し込みください。
お名前	
お住まい・電話	
メールアドレス	
種別	当事者　家族　医療介護職　その他

あて先
TEL/ FAX　042-401-0051
ホームページ　http://ichigoe.org/
メールアドレス　info@ichigoe.org

会報（たより），講演会，交流会などの案内をメールにて送信してもよいですか。
○をつけてください。

当会で知り得た個人情報は厳重注意し、会の運営や活動以外には利用いたしません。

要　・　不要

メール